



今回で14回目を迎えた、小・中学生のための自然体験スクール。小学1年生から中学2年生までの男子13名、女子16名の合計29名と一緒に、12月25日から28日までの3泊4日で信州に行ってきました。ナビゲーターは、NPO日本高齢・退職者福祉推進協会の事務局長である池田一弘さん(かずさん)、船橋の老人クラブ事務局長である岩口仁さん(いわさん)の2名と、マザーネットからは毎回参加の水谷しんさんと上田の2名、そしてスノーボードの講師として北海道大学理学部1回生青山直樹さん(なおきさん)の合計5名です。それではご報告します！

1日目 キャンドルファイヤーは、何度体験しても魅力的！

8:36 今回は全員が大阪からの出発。路線バスのアルペン伊那号を貸し切り、見送りのお母さん、お父さんたちに手を振って、無事新大阪を発車しました。少し多めに座席を買っているの、ゆったりと座れました。途中のサービスエリアも暖かく、「うえださん、雪大丈夫なん？」と何度も質問されました。長野県に入ると、遠くに雪山が見えてきました。「やったー！雪積もってる。きれいな山！」と歓声が。バスからの景色は美しく、心が洗われるようです。

13:35 伊那市に到着。東京からやってきた、いわさん、かずさんと合流し、貸し切りバスへ乗り換え。

14:30 国立信州高遠少年自然の家に着。去年は雪に埋もれていましたが、今年は陰に少し残っている程度。それでも、その雪の上を歩き、うれしそうでした。

15:30 今回の宿舎は、2階建てのロッジ2棟です。まずは恒例のオリエンテーション。自己紹介では、名前、住んでいるところ、学校、学年、そして「今、自分が好きなこと」を話してもらいました。1年生で初参加のみきちゃんも、しっかり挨拶できました。同じく1年生のだいきくんも、大きな声で話してくれました。高学年になると、だんだんはずかしくなっていくようです。

さて、今回は私から子どもたちには、こう話しました。「今、いじめの問題がよく話題になってます。今までのスクールでは、女の子のお友達に「ブタ」って言って、そのお友達がすごく傷ついたことがありました。自分にとってはたいしたことじゃなくても、お友達がすごく傷つけることがあります。このスクールでは、いつもお友達の気持ちになって考えて、行動してほしいです。もし、お財布が見つからなくて困っているお友達がいたら、自分だったらどんな気持ちになるかを考えて、お友達にやさしくしてあげてほしいです」。みんな静かに聞いてくれました。少しは、伝わったでしょうか。

終了後は部屋へもどり自由行動。男の子は、体育館で、卓球、ドッチボール、サッカーなど。女の子は、お菓子パーティ。「夕食の前だから、食べすぎちゃダメよ！」と言うのですが・・・。

18:00 夕食はバイキング。なんと、食堂のスタッフの方がサンタさんの格好をし、クリスマスケーキを配ってくれました。スタッフの方に聞くと「ここへ来て5年目なので、そろそろ新しい企画をしないと、と思い、やってみました」とのこと。自然の家で食べるケーキは、町で食べるのと違い、おいしかったです。

19:00 クリスマスのキャンドルファイヤーの集いを行いました。まずは、クリスマスコンサート。昨年まではノリノリで歌ってくれた6年生の男子たちですが、急に目覚めたのか、歌うのが恥ずかしそう・・・。成長を感じる瞬間です。かわりに、なおきさんが歌ってくれました。その後は、プレゼント交換。男女に分かれて輪を作ります。ジングルベルの音楽に合わせて右へ渡し、音楽が途切れたときに持っていたプレゼントをもらいます。「やった！」という声と、「これ、絶対500円しないで！」など、熱くなっていました。その後は、大きな蜀台を部屋の中央に置き、そのまわりを囲んで座り、小さな蜀台を一人ずつ持ち、ロウソクを立て、火をつけます。いつもロウがたれて、掃除が大変なので、ブルーシートをひいてみました。しかし、今度はブルーシートに穴があいてしまいました。



いわさんの自己紹介は、ひもを使って。
ひきつけられる子どもたち

いつもしおりの白い部分をやぶって燃やす子が多いので、「しおりを燃やさないように」としおりに書いてみました。すると、誰一人として燃やす子はいなくて…。子どもたちって、とても素直なのですね。事前に注意しておくことの大切さを学びました。
21:00 お風呂に入って、就寝。お部屋で盛り上がっていましたが、23時すぎには静かになったようです。



どうしてこんなに子どもたちの心を捉えるのか…不思議です



プレゼント交換の様子
大きいのと小さいの、どっちがいいかな？

2日目 暖かくて、春スキーみたい！

7:00 起床。ゆっくり休んだようで、寝起きもよい女の子たちです。

8:00 朝食。今日は、スキー&スノーボードコースとアートコースに分かれます。



くまちゃんのぜっけんがかわいい！



スノーボードの6年生たち。カッコいい

<スキー&スノーボードコース>

9:00 自然の家を出発。夜遅くまで起きていた男の子たちもいるようで、バスの中では、ぐっすり眠っています。

10:00 伊那スキーリゾートに到着。スキーとスノーボードに分かれ、初心者と初級の子はスクールを受講。他の子どもたちには1日券を渡し、自由にすべってもらいます。私がリフト券の手続きなどをして戻ってくると、券も持たずにすべりに行った子たちも…。すっかり要領がわかっているようです。スキーのスクールは、スキーリゾートの先生にお願いします。そして、スノーボードのスクールは、なおきさんが担当。開始して30分、ちーちゃん(中2)が手を打撲！急いで救護室へ行きましたが、はれているので病院へ行った方がよいとのこと。いわさんに引率してもらい、病院へ連れて行っていただきました。心配すること1時間半、レントゲンをとると、骨に異常はないとのこと。ホッと一息。何とかして、ちーちゃんにスノーボードをさせてあげたい！そういえば、4年前、ちーちゃんはウインタースクール2日目の朝にインフルエンザに。その時も、根性ですべていたのを思い出します。今回も、手に小さなギブスをつけて、午後からスノーボード再開です！

12:30 昼食は親子丼。運動した後は、おいしいですね！

13:30 スクール再開。その他の子どもたちは再び自由すべり。休憩も自由に取りながら、自分のペースですべります。「うえださん、一緒にすべろー！」と何度も誘われ、運動不足の私は、へろへろです。会社のために、骨折だけは避けなければ…。

終了後は、売店でおみやげものを買う時間もあります。すると、ちなつちゃん(小3)が、「サイフがない…」と涙声。お友達3人がなぐさめてくれたり、いろんなところを探してくれたり、一生懸命なのです。私の方でおみやげ代を立て替えると、いつもの笑顔がもどってきました。

16:00 あっという間に終了。自然の家へもどるバスでは、みんなぐっすりです。お部屋にもどると、ちなつちゃんのサイフ、ありました！お友達と一緒に喜んでくれて、私もうれしかったです。



いわさんの竹セミ教室



熱心に聞く子どもたち

<アートコース>

10:00 今回のアートコースは、ほのちゃん(小5)1名。「教会を描きたい!」というリクエストをもらい、車のナビで探すと、駒ヶ根市内に小さな教会を発見!早速、スケッチを開始。今回のテーマは、「一緒に描く」。同じところと一緒に描くことで、色の作り方や塗り重ね方を学んでもらいます。教会を描き終え、車を走らすと、美しい雪の南アルプスを臨むアルペン風の建物を発見、そしてスケッチ。

12:30 昼食

13:30 伊那スキーリゾートに戻り、スキー場のスケッチ。その後は3枚の絵に色づけしました。

17:30 両コースとも、自然の家に着。

18:10 夕食。運動の後は、みんないっぱい食べます。

19:00 夕食後は、いわさんによる、「竹セミづくり」教室。カメラのフィルムケースにひもをつけ、竹の棒に熱した松やにをつけ、つけた部分にひもをひっかけ、振り回すと、なんとセミの鳴き声がするのです。みんな、ブンブンと振り回していました。その後は、「魚鳥木モースカ」ゲーム。私たちが小さい頃にした、なつかしいゲームです。「魚」と言われると、魚の名前を答えるというもの。男の子たちに好評でした。

21:00 入浴。「他の団体がいない場合は、泳いでもOK!」と話しています。どの時間がすいているのか、他の団体の行動や引率者の性格まで観察しているよう。恐るべし、マザーネットの女の子たち。

23:00 就寝。この後、6年生以上の男の子は、持参したDVDプレーヤーで“着信アリ”を見て、4時まで起きていた子も…。夜中、すごい雨で、雷も鳴り、さぞかし怖かったです。

3日目 のびのびと思いのままにすべて

7:00 起床。

8:00 朝食。男の子は寝不足で、しんどそう。しっかり寝ないと、スノーボーを楽しめないぞ!隣の団体から、「5、4、3、2、いただきます!(パチ!パチ!)」の号令が。「こういうの、一番苦手!」と、子どもたち。「こういうのがないのが、マザーネットのいいところやなあ」と、納得していました。

<スキー&スノーボードコース>

9:00 自然の家を出発。男の子たち、熟睡です。

10:00 スキーリゾート着。昨夜の雨で心配した雪は、何とか大丈夫でした。寝不足の6年生の男の子たち、スキー場に到着と、すぐに元気回復!今日の午後から、スキーからスノーボードに転向した池田くん(小6)。なおきさんにコツを教してもらい、あっという間に上手に滑れるようになり、びっくりです。途中、カレーライスを食べ、休む暇もなく、ゲレンデへと消えて行きます。規則正しく並んでレッスンをしている他団体の子どもたちの間を、のびのびとすべるマザーネットの子どもたちは、いきいきしていて、素敵です。子どもたちは本来、すごい能力を持っているんだ、と感じる瞬間です。

<アートコース>

10:30 駒ヶ根市美術館へ。ロダンの彫刻や、ゴヤの絵を鑑賞。大人の絵ですが、何か違う感性に触れてくれたことと思います。

12:00 ほのちゃんの希望で、北方ラーメン屋さんへ。

13:00 美術館の隣の光前寺へ。千年を超える歴史を感じさせる山門でスケッチ。

14:00 スキーリゾートへ戻り、色づけ。「大きく描き過ぎた…」とほのちゃん。構図の勉強にもなったことでしょう。最後に、ほのちゃんの描いた絵を、アクリルフレームに入れ、プレゼントしました。美しい信州の自然の中のスケッチは、感性を高め、学びとるものがあつたと思います。



なぜか“おっさん”と呼ばれていたなおきさん



「え!そんな風に塗るの?」と、ほのちゃん(小5)

17:50 自然の家着。

18:10 夕食。今日はマザーネットだけの利用です。ミネストローネなどの新メニューがあったり、おいしかったです。

19:00 夕食後は、終わりの会。今回の発表のテーマは「一番楽しかったこと」。女の子はスキーやスノーボー、男の子は「いわさんの魚木鳥ゲーム」が多かったです。

発表の後は、しんさんのマジックショー。学校の合間をぬって練習していましたが、次回までの宿題のマジックもいくつか…。しんさん、がんばって！そして、恒例のビンゴ大会。子どもたちがスクールの中で、最も燃える瞬間です。

22:30 最後の夜がふけていきます。男の子たち、今度は「着信アリ2」を見たいです。



しんさんの超能力マジック(!?)に、子どもたちは引きつけられて

4日目 最終日に雪が降ってきました…

6:40 起床。急に寒くなってきました。朝食の前に、お部屋の掃除です。トイレもみんなで協力して、きれいにしてもらいました。

8:00 荷物を持って、朝食へ。高学年のみんなには、シーツなど協力して持ってもらいます。あかねちゃん(小6)、すずなちゃん(小6)は、やかん運びなど、よく手伝ってくれました。ありがとう。

9:30 自然の家を出発。

10:30 小淵沢のスパティオ体験工房へ。パン作り、はた織り、シルバーアクセサリー、とんぼ玉、フュージング…と、自分のやりたいプログラムにチャレンジします。男の子は全員パン作りを希望。チョコチップパンと、ハムチーズパンを作りました。

12:30 昼食。きつねうどん、カレーライス、ラーメン、天ぷらうどんの中から、好きなものを選びます。伊那への移動中、中央自動車道に積雪してきました。「雪降るの、遅い！」と笠松くん(小6)。



はた織りをするまゆちゃん(小2)
2回目なので、慣れた手つきです



フュージングの様子。出来上がりまで1カ月です



トンボ玉グループ。難しい作業です

14:30 アップルランド伊那にて、夕食のお買い物ゲーム。小学6年生以上700円、5年生以下600円の予算をグループに渡し、好きなものを選びます。「株式会社マザーネットで領収書ください！」もう慣れたものです。

16:25 東京組のいわさん、かずさんをお見送り。いわさんの写真を撮影し、携帯電話の待ち受けにする大下くん(小6)。

16:30 アルペン伊那号に乗車。ほぼ時間通りに、桃山台と新大阪に到着。お父さん、お母さんたち、寒い中、ありがとうございます。また会いましょうね！

◆スクールを振り返って

先日、作家で秋田公立美術工芸短期大学学長である石川好(よしみ)先生とお話する機会がありました。近頃、人間の耳の能力が欠如してきているとのこと。いじめの問題を含めて、いろいろな人が危険信号を発しているのに、聞き上手でなくなっている。人間の五感が退化していることは、大きな問題と。この話をお聞きして、子どもたちがこれから生きていく上で、五感を磨く大切さを改めて感じました。次回からも、このような視点を忘れずに、プログラムを考えていきたいと思えます(上田)。